

日本語を母語としない子どもとともに
JSL 日本語指導教育研究会通信
(JSL= Japanese as a second language)

令和5年 第1号

発行者 会長 池田 いくみ
日本語指導教育研究会 事務局

○第1回研修会 (オンライン開催)

全体研修1 小中合同研修「中央研修の報告」

昨年度、三重県の中央研修に参加された小学校2名、中学校2名の先生方から研修報告をしていただきました。三重県津市の就学前日本語教室「つむぎ」、松坂市内中心部にある徳和小学校の「いっぼ」、在学生徒の多くが外国籍を占める津市東橋内中学校卒業生が母語支援を行っている飯野高校等での研修内容を発表していただきました。それぞれの学校で地域に根ざした特色ある日本語教室経営が行われていました。三重県の日本語教育支援体制や取り組みの工夫を知り、これからのより良い日本語教室運営にいかしていきたいと気持ちを新たにしました。

感想

- ・津市の学校の状況が詳しく分かりました。初期集中教室や日本語能力把握スケール、それにもなう担任の先生方も含めた会議など、福岡市でも今後実践できると良いと思う報告でした。
- ・他府県を参考に福岡の形も考えていきたいと思う。
- ・三重県でも先進的な取組をされていて、とても参考になりました。
- ・他県の指導の様子を具体的に知ることができました。今後の参考にできる内容がたくさんありました。
- ・報告させていただいたことで、中央研修で学んだことを振り返ることができました。

○全体研修2 令和5年度日本語指導教育研究会について

令和5年の組織、年間計画、今年度の研修、基礎研修(小・中)、「本研修(小・中)」について、それぞれ担当の先生方から詳しく説明がありました。今年度の研修の目標は「JSL児童生徒の多様性・複雑性に応じた体系的な日本語指導や適応指導の工夫、及び日本語支援システムの適切な運用の在り方の研究」となる予定です。今年度も一人一人が目的をもって研修を深め、より良い指導、教室経営につなげることができるよう努力していきたいです。

〈当日の資料〉

JSL研修会組織図 今年度の研修について(小学校・中学校)
JSL日本語指導教育研究会研修会 年間計画(案) 等

○研修3(小中別)

小学校と中学校に分かれて、今年度実施する研修について話し合いました。小学部は、(A)文字指導の研究または(B)ICTを活用した指導の研究のうち、どちらか希望のグループに分かれて、各々が研究したいテーマについてグループ内で共有することができました。中学部は7月に予定している高校訪問についての意見交換を行い、アンケートを参考に訪問先候補を決定しました。最後に、9、10月に予定されている授業研の授業者を募り、決定しました。年間を通して充実した研修になるよう、会員一丸となって取り組んでいきたいです。